

令和4年度入学生 Y・Mさん

(1) 税理士の道を目指した理由

もともとは会社員（営業）をしていたのですが、結婚を機に将来を見据えたときに、今の仕事のままじゃ家庭を支えられない、もっと将来に繋がる仕事をしたいと思って。そのためには、難しい資格を取得しようと色々調べていくうちに「税理士資格」の存在を知り、この資格の取得を目指し始めたのがきっかけです。

最初は簿記検定3級を取ることからはじめ、その後、計4年間で税理士試験科目を3科目合格しましたが、残りの2科目は子育てや仕事の都合で試験勉強に十分な時間を取ることができず、なかなか受からずにいました。大学院で科目免除ができることは知っていたので、子育ても落ち着いたタイミングで大学院進学を決めました。

(2) 平成国際大学大学院を選んだ理由

自宅から通える距離だったことですね。

私は栃木県に住んでいるのですが、そこから定期的に通うとなるとやはり都内の大学院は難しく、選択肢が絞られていく中で、平成国際大学大学院は、さいたま新都心駅にあるので、通いやすいことと、知り合いが卒業生だったこともあったのが決め手でした。

(3) 研究テーマについて

私の研究テーマは、「適格請求書等保存方式について」です。いわゆる「インボイス制度」について論文作成しようと現在、様々な文献を読んでいます。このテーマにしたのは、旬な話題であることと、他の人とあまり被らないテーマで完成させたいと思ったからです。

(4) 学びの中で、最も印象に残っているエピソード

やっぱり演習形式の講義ですかね。毎回新たな気づきに出会えるのがよかったです。特に印象的なのは、以前、1年生と2年生でとあるテーマについてすごく熱く議論しあった場面があって、どちらも譲らない考えを持っていたのもあって、聞いていてとてもハラハラしたのを覚えています。大学院には若い方から年配の方までと様々な方がいますが、年齢とか関係なく言い合える環境があるのは良い所だなと思いました。

あと、同級生との交流は社会人である自分にとって、とても貴重なものですね。今まで税理士試験の勉強は一人でやってきていたので、同じ目標をもった仲間と一緒に勉強できることは、心強さもあり、いい意味で緊張感を持たせてくれて、対面ならではの良さがあると感じました。

(5) 今後の目標

修士論文を書き上げ、無事に修了することと、税理士資格を得た後は独立を考えています。自分の事務所を立ち上げて、時間に縛られない自由な働き方を目指したいです。

(6) 受験生へ一言

受験生のほとんどが社会人だと思われませんが、仕事の調整や体力面での心配については、結局のところ“本人のやる気次第”だと思います。もちろん職種にもよりますが、意外となんとかかります（笑）それこそ、土曜日の昼間に授業とか、入学前まではどこか億劫に感じていましたが、実際講義を受けていると、土曜日の時間を有効に使えているという実感があり、総合的に見てもやっぱり通ってよかったと感じます。

現在、大学院に行くことを迷われている方は、一度入試説明会に足を運んでみるとか、まずは一步、行動してみてください。